

各位

上場会社名 株式会社 ナ・デックス
 代表者 代表取締役社長 桑原 敏郎
 (コード番号 7435)
 問合せ先責任者 常務取締役管理本部長 福島 國彦
 (TEL 052-323-2211)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年6月14日に公表した業績予想及び配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成23年4月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成22年5月1日～平成22年10月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	10,340	130	135	90	9.65
今回発表予想(B)	8,597	200	163	90	9.69
増減額(B-A)	△1,743	70	28	0	
増減率(%)	△16.9	53.8	20.7	0.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年4月期第2四半期)	5,405	△709	△683	△922	△98.96

平成23年4月期通期連結業績予想数値の修正(平成22年5月1日～平成23年4月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	22,980	550	555	355	38.07
今回発表予想(B)	20,135	405	420	270	28.96
増減額(B-A)	△2,845	△145	△135	△85	
増減率(%)	△12.4	△26.4	△24.3	△23.9	
(ご参考)前期実績 (平成22年4月期)	14,009	△726	△681	△965	△103.59

平成23年4月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成22年5月1日～平成22年10月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	9,090	60	90	50	5.36
今回発表予想(B)	7,408	98	46	0	0.10
増減額(B-A)	△1,682	38	△44	△50	
増減率(%)	△18.5	63.3	△48.9	△100.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年4月期第2四半期)	4,821	△440	△442	△654	△70.12

平成23年4月期通期個別業績予想数値の修正(平成22年5月1日～平成23年4月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	20,000	350	400	225	24.12
今回発表予想(B)	17,430	235	210	90	9.65
増減額(B-A)	△2,570	△115	△190	△135	
増減率(%)	△12.9	△32.9	△47.5	△60.0	
(ご参考)前期実績 (平成22年4月期)	12,413	△398	△346	△615	△65.95

※業績予想の適切な利用に関する説明

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

修正の理由

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、緩やかながら景気回復が続いており、企業収益は売上高が持直すなど改善の動きが見られますが、急激な円高や依然として厳しい雇用環境など、先行き不透明な状況が続いております。

このような経済環境のもとで、当社グループの主要得意先である自動車関連企業の設備投資は、維持・更新投資を再開させるなどの動きが見られ、提案性の高いエンジニアリング営業の強化や新商品・新規市場の開拓により、電気機器関連企業向けの電子制御機器・部品の売上とあわせて回復し始めておりますが、エコカー補助金の終了に伴い生産に一服感があるなど、新規の設備投資については依然として厳しい状況が続いております。

1. 第2四半期(累計)業績予想

【個別の修正の理由】

売上高は、回復の兆しが見られますが、新規の設備投資は依然として厳しい状況が続いており、74億8百万円と前回発表予想の90億9千万円から16億8千2百万円減少いたしました。営業利益は、付加価値の高いエンジニアリング営業や自社製品であるウエルドシステムの売上の増加に伴う利益率の向上および経費削減により9千8百万円と前回発表予想の6千万円から3千8百万円増加いたしました。経常利益は、為替差損8千8百万円の計上により4千6百万円と前回発表予想の9千万円から4千4百万円、四半期純利益は、法人税等調整額2千4百万円の計上により0百万円と前回発表予想の5千万円から5千万円それぞれ減少いたしました。

【連結の修正の理由】

個別の修正の理由と同様の要因により、売上高は85億9千7百万円と前回発表予想の103億4千万円から17億4千3百万円減少し、営業利益は2億円と前回発表予想の1億3千万円から7千万円増加いたしました。経常利益は、個別の修正の理由があったものの、持分法投資損失2千7百万円を予想しておりましたが持分法投資利益2千4百万円を計上できたことに伴い1億6千3百万円と前回発表予想の1億3千5百万円から2千8百万円増加し、四半期純利益は前回発表予想と同額の9千万円となりました。

2. 通期業績予想

【個別の修正の理由】

第2四半期(累計)業績予想の修正の理由に加え、今後の6ヶ月の売上高は、現在の引合い、受注の動向を鑑み、第2四半期(累計)に比べ増加するものの、前回発表予想は下回ると予想されますので、200億円を174億3千万円に修正いたします。営業利益は、売上高の減少に伴う減少を見込み3億5千万円を2億3千5百万円に、経常利益は4億円を2億1千万円に、当期純利益は2億2千5百万円を9千万円に、それぞれ修正いたします。

【連結の修正の理由】

個別の修正の理由と同様の要因により、売上高は229億8千万円を201億3千5百万円に、営業利益は5億5千万円を4億5百万円に、経常利益は5億5千5百万円を4億2千万円に、当期純利益は3億5千5百万円を2億7千万円に、それぞれ修正いたします。

● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成22年6月14日発表)	—	6.00	—	6.00	12.00
今回修正予想	—	—	—	5.00	10.00
当期実績	—	5.00	—		
前期(平成22年4月期)実績	—	6.00	—	6.00	12.00

平成22年4月期第2四半期末配当金の内訳 特別配当 1円00銭

平成22年4月期期末配当金の内訳 特別配当 1円00銭

修正の理由

当社の利益配分についての基本的な考え方は、1株当たり配当金を年10円とし、株主への安定的な利益還元を行いつつそれをより高めるとともに、経営基盤、企業体質の強化を図るため、中・長期的見通しに基づき内部留保を厚くして株主資本を充実させることにあると考えております。

今般、業績予想を修正し、前回発表予想に比べ下回る見込みとなりましたことに伴い、配当につきましても業績を鑑み、年間としては普通配当10円(うち中間配当5円)と誠に遺憾ながら修正させていただきます。

以上